

令和7年度 学校自己評価

学校目標の評価を各部、各学科・各教科、各学年において目標ごとの評価総計の平均値で算出。 4：よくあてはまる 3：概ねあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない					
質 問 事 項		4	3	2	1
I 学校運営に関するもの					
1	■目標（1）安全安心な学校づくり ①安全教育の推進（交通安全教室、交通立ち番指導、各科安全教育など） ②環境整備の推進（清掃指導、自分のゴミ持ち帰りなど） ③健康の保持増進（健康観察、保健カード活用など） ④危機管理の高揚（危機管理マニュアルの作成、防災訓練（みやざきシェイクアウトへの参加など）） ⑤人権教育の充実（人権学習年3回など） ⑥人権尊重の推進（外部機関との連携など）			2.80	
2	■目標（2）夢を叶える学校づくり ①キャリア教育の推進（キャリアパスポートの作成、インターンシップなど） ②進路指導の充実（企業説明会、小論文指導など） ③ものづくり教育の推進（高校生ものづくり競技会参加など） ④資格取得の推進（資格取得指導やその成果など） ⑤基礎学力の定着（研究授業期間の実施など） ⑥思考力・判断力・表現力の育成（新学習指導要領の研究など） ⑦多様な進路志望への対応充実（進路面談の実施など）			2.88	
3	■目標（3）健全な心身を育む学校づくり ①基本的な生活習慣の確立（挨拶や服装指導、保健だより発行など） ②生徒会活動の充実（生徒会主体での文化祭・クリスマスなど） ③部活動の充実（全国大会や九州大会への出場など） ④読書活動の充実（日々の「朝の読書」の時間など） ⑤主権者教育の推進（市議会傍聴や市議会議員との意見交換会など） ⑥奉仕活動の推進（各種ボランティア活動など）			2.85	
4	■目標（4）信頼される学校づくり ①受検生の確保（体験入学、各中学校での高校説明会など） ②広報活動の充実（ポスター制作、HPの充実など） ③家庭との連携（PTA広報部通信の作成、HPの充実など） ④地域との連携（地域のイベントへの協力など） ①OJT・OFF-JTの充実（研修会、各分掌・教科・学科で推進） ②誠実さを信条とした組織づくり（研修会、各分掌・教科・学科で推進） ③働きやすく働きがいのある職場づくり（研修会、各分掌・教科・学科で推進）			2.97	
II 令和7年度の取り組み					
目指す学校像 ○ 社会の変化に即応しながら工業教育を実践する学校 ○ 生徒一人一人の可能性を高め、個性を生かす教育を実践する学校 ○ 郷土並びに社会の発展に貢献できる心身共に健全な生徒を育成する学校 スローガン 「生徒一人一人が育ち、輝き、誇りをもつ都工」					

(1) 安全安心な学校づくり

2回の避難訓練、11月のシェイクアウト訓練、各種講演会等を通し、自分の命は自分で守り、他者を思いやる心を養った。また、職員向け心配蘇生法及びAED講習会を実施した。

人権学習の1・3学期については各学年でテーマ（いじめについて考える、相手を尊重する関係をつくる、就職差別を考える等）を決め実施した。2学期は全学年を対象に講演会（演題：人生は逆転できる！～「私はこうありたい」そんな自分を大切に生きる～）を実施した。今後も人権学習を通じて、差別に関する人権意識の醸成とこれからの社会における多様性を尊重した人権教育に取り組む。

教育相談部への相談件数が多くなってきている。取り組みとしては、クラス全体や部活動への説明に関わる生徒へ実施した。相談室登校する生徒へのケア、家庭訪問を適宜担任とともに実施をしている。またSC、SSWの活用を図り、生徒の困り感について情報共有や具体的な対応についても協議した。簡単に結果が出るような取組ではないが、次年度は特別な配慮の必要な生徒への対処や共通理解など、全職員での協力体制や学校全体で関わる体制づくりを計画していく。

(2) 夢を叶える学校づくり

進路状況については今年度1860社から求人票をいただいた。昨年度よりは約100社減少している。企業内定率は93%であった。県内就職率は34%であり、昨年度より1%上昇した。就職希望者のうち、進学は63名、公務員は15名であった。今年度も、県内企業理解を目的として2年生の生徒と保護者を対象に県内企業説明会を実施した。3月には1・2年生を対象に実施のため進行中である。

資格取得についてはジュニアマイスターゴールド14名、ジュニアマイスターシルバー32名であった。生徒への指導時間の確保や生徒の主体的な学習姿勢の醸成、受験料が1万円を超す資格検定があるなど保護者の負担が大きいこと等が課題である。

化学工業科1年に対して、大学職員ならびに企業職員による半導体に関する授業を計9回実施した。今後も外部講師を招聘した事業を計画・立案して行きたい。

化学工業科2年生が難関資格に挑戦して危険物甲種取扱者免許取得

(3) 健全な心身を育む学校づくり

運動系、文化系、工業技術系合わせて29の部が活動している。各種大会において多くの部が好成績を収めた。特に、バレーボール部：県高校総体優勝、春の高校バレー県予選優勝（全国ベスト8）、自転車競技部：九州新人選抜大会個人1位、少林寺拳法部：高校総体団体優勝、九州大会優勝、新人大会女子個人優勝など、ソフトテニスズ新人大会団体3位、美術部：県高校総合文化祭特選1名、囲碁部：県高校囲碁選手権大会男子団体優勝、制御技術部：マイコンカー全国大会出場（24位）、機械技術部：高校生ものづくりコンテスト旋盤加工優秀賞（第2位）、建設技術部：高校生ものづくりコンテスト県大会 木材加工優秀賞（第2位）、化学技術部：高校生ものづくりコンテスト県大会液体分析優秀賞（第2位）であった。

(4) 信頼される学校づくり

学校HPについては、各種行事や学科の取組などを随時掲載した。また、各家庭への案内をメールで配信して周知の強化を図った。PTAと連携してPTA新聞もデジタル化を進めHPに掲載することができ、保護者や地域の方に情報発信が行えた。

五十市ふれあい文化祭における作品展示、支援学校との連携、ボランティア活動並びに都工ビックバンド（TBB）における幅広イベントに参加して演奏活動をとおして連携協働する取り組みが図れた。